

平成27年度 学校法人 三幸学園 大阪ビューティーアート専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 加藤 裕美

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 徳 幸道

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、美容分野の学校として「美容を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、美容分野として「美容を通じてサロンと組織を活性化させる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 27年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 重点施策振り返り

・退学率低減

退学者低減を課題に掲げ、4月当初から単月目標を立て、クラス担任に明確に退学低減意識を根本から変えさせて結果、退学率 12.6% から7.9%の低減につながった。

低減にはつながったがまだ納得いく数字ではないので入学から卒業まで退学者5%になるようにしていきたい。

・社会に適合する人材育成

就職させた後の退職者が多い分野で、社会に適合する人材育成を課題に掲げ、心の教育や現役で働いている教員を増やし授業で、より現場の感覚を感じられる内容に改善した。

社会に適合する人材育成は、学校生活2年間の指導が基本となってくるのでさまざまな行事や授業など1人1人の意識改革が必要であり、マナーやルールをしっかり教え、就職してからも愛される人材育成により力を注ぐ。

② 学校関係者評価委員会コメント

(1)学校

・今の学生は周りからの評価ではなく、自分自身で自分は頑張っていると評価する傾向がある。

学生が頑張って社会貢献している場面を公表したほうが良い。

・夢を持って就職をして、すぐに挫折してしまう人がいる。学生時代何かをやり遂げた、達成感がある人材が現場にでも強い人材となる。サロン実習は実施しているので産学連携やボランティアなどに積極的に参加させることは良いと思う。

3.評価項目の達成及び取組状況

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

(1). 教育理念・目標

① 課題

入学前保護者会などで理念等ご説明する時間は設けているが、参加されない方への対応を考える方向性は定められているが、浸透させることが課題

② 今後の改善方策

保護者会の参加率をあげる。入学者の保護者はもちろん、学校説明会に参加して下さる高校生の保護者様にもより深く学校の理念や学校の内容等ご説明する時間を設定する。

保護者参加型の行事を増やすなど対応が必要

③ 特記事項

全体会議・各教科会・研修など学校の運営方針や指導の仕方の共など浸透する時間を設けている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

学校の沢山の全体会議に参加する機会が設けられており学校の方針や方向性が見えている。

(2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
人事、給与に関する制度は整備されているか	4 3 2 1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4 3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

① 課題

情報システム化によりさらなる業務効率化ができるのではないか
 教育活動に関する情報公開が不十分

② 今後の改善方策

日ごろの教育活動に力を入れているのもっと地域社会にも情報公開するべく Web の活用など
 していく

情報システムを上手く利用すること

SNS などを利用し、教育の取り組みを発信していく

業務効率の上がる人材育成の仕組みづくり

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

適切に運営されていると感じる

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 課題

教員研修の出席率の向上
教員の指導力向上における取り組みが必要
先端的な知識技能を習得するための研修の拡充
職業理解を深める為の仕組みづくり

② 今後の改善方策

教科研究の場を多く設け、教育の質を上げていく
より幅広いジャンルの研修を実施
現役の方が受講する研修に参加することも必要
外部のコンテストやヘアショーに参加してはどうか

③ 特記事項

授業アンケート・実習アンケート・担任アンケート・卒業生アンケートなど評価制度の分析を行い次年度に活かしている。
アンケート結果から教員が個々に振り返りをしており、指導の仕方など見直しに役立てている

④ 学校関係者評価委員会コメント

B×art コンテストなど独自のモチベーションのあがるコンテストを実施しており業界に出る前に全国での大会ができる環境は素晴らしいと思う。

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	就職率の向上が図られているか	4	3	2
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 課題

退学率低減に力を注いでいるが十分な成果は得られていない
卒業生が卒業後どのように活躍しているのかということの把握が不十分

② 今後の改善方策

今年度より教育開発部が設置され今まで以上に対策を強化できる
同窓会を主体とし、卒業生の情報収集や発信をしていく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

同窓会サイトは卒業生にも認知されていない現状がある
担任や教科の先生と卒業後も連絡をとれる環境が確立されている。

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

学生相談に関する体制は整備されているが、活用が不十分
課外活動に対する支援体制の強化
保護者との連携強化

② 今後の改善方策

より気軽に活用できる促しを考える
学内だけではなく学外活動を支援し、学生を成長させる機会を提供する
保護者連絡スケジュールを作成し、意図的に連携していく

③ 特記事項

心理カウンセラーを設置しており学生が気軽に行きやすくするため教員からのさりげない促しもしている

④ 学校関係者評価委員会コメント

サロンでも固定のアドバイザー的なスタッフを配属し、頻りにサロンに行きスタッフの様子や相談など
タイムリーに対応できる体制を整えている。離職率軽減に対応し、良い結果をあげている。
メンタルの弱い生徒が多くなってきているのでいままで以上に注意をしながら育成をしていく

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

老朽化している箇所がある
防災体制の更なる整備

② 今後の改善方策

防災についての周知徹底

③ 特記事項

海外研修の実施 美容科・トータルビューティー科:ロサンゼルス → 任意
トータルビューティー科 エステ:パリ) → 任意

④ 学校関係者評価委員会コメント

実際に学生をサロン実習生として受け入れている。実習から入社にもつながっており、しっかりした指導ができていると感じる。

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

限られた時間の中で告知するのが難しい

② 今後の改善方策

学校の実績を全て伝えられるよう、ツールを工夫する

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

この少子化の中で5クラス40名の学生を入学させている現状があるので安心している。

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

情報公開の体制整備は整っているが、閲覧が少ない

② 今後の改善方策

閲覧いただけるよう告知していく

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

適切に運営されていると思う

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

自己評価の実施はなされているが評価に対する改善は担当ごとまちまちなので改善レベルを上げる対策を考える。

② 今後の改善方策

コンプライアンスの徹底をしていく

個人情報保護法など新しい教員だけではなく全体会議などを通じて全員で理解を深める

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

SNS 等 良くも悪くも情報が広がりやすいので学生指導や教員の立場をしっかりと踏まえて
いかなければならない

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

ボランティアなどの依頼は積極的に受けているが授業などのために制限がある
地域との連携が課題

② 今後の改善方策

社会貢献、地域貢献活動を授業に支障のない設定でできることをもって行なう(地域清掃など)

③ 特記事項

昨年度より地域と連携に強化し、社会貢献のイベントに参加している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

ボランティアは、学生にとってもよい勉強になるので是非協力してほしい

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

「お客様を美しくすることで人を元気にし、日本を世界を明るくする」をビジョンに掲げ、今年度は
技術や知識はもちろん”心の育成“に重点をおいて指導にしていく。

大阪 B「こころの育成6つのあるべき姿」として以下の6つを重点事項として教務にあたる

(ア) 掃除・整理整頓 ②ルール・マナー ③敬語・挨拶 ④向上心

⑤誠実・素直・感謝・謙虚助 ⑥たすけ合い・先輩後輩のふれあい

清掃・整理整頓に力をいれ、物の大切さ、環境のありがたさを学んでもらう。

また明るく元気に挨拶できるまで指導していくことにより周りを明るくできる。

この2つの事柄だけでもきちんと身につけることができたなら誰からも愛される人材となり

愛されることにより相手のことを思いやることのできる人材育成となる。

そのうえで学生の目標や夢を達成できる環境整備や教員のあるべき姿・体制なども見直し

課題をしっかりと把握し今よりさらに学校運営をしていく必要がある。